

十人。参加費は四千元 議会＝0577 (65)  
 (弁当付き)。(同協) 2221 (浜崎陽介)

協定書を持つ国島市長(左から2人目)と国枝さん(高山市役所)

### 災害時の畳提供で協定

高山市 全国の畳店「委員会」と



町と白川  
 大生県立  
 秋の花が  
 いる。  
 わいらし  
 うやサラ  
 ゃ、青い花  
 ンドウなど  
 に咲いてお  
 人の目を楽  
 いる。  
 の吉真陽子さ  
 生温原やカラ  
 にたくさん  
 て、秋を感じ  
 と話す。九  
 ろまでがじ  
 。十月中旬は  
 頃を迎え、  
 月下旬十一  
 初雪が観測  
 、閉山とな

高山市は二十九日、全国の畳店をつくる「五日で五千枚の約束プロジェクト委員会」と、災害時に避難所へ畳を無償で提供してもらう協定を結んだ。

協議会は九月二十五日公園山登山を実施象は小学三年両日とも定員六千六百八十枚を届けた。全国の四百七十店が加盟し、災害時には五日以内に必要枚数を届けるという。市役所で締結式があり、国島芳明市長と東海地区委員長の国枝幹生さん(西)と大野町(西)が協定書に署名した。国枝さんは「イグサの香りでリラックスしてもらい、防音、湿度調節、衛生面でも高い効果が得られると思う」

と話し、飛騨地では七番目で、飛騨地域では下呂市が昨年締結している。  
 (片山さゆみ)

### 木造仮設を实演展

飛騨古川「防災意識持つ建築組連」

飛騨古川建築組合連合会は二十九日、地震などの災害に備えるため、市役所の駐車場で、木造の仮設住宅を組み立てる実演をした。九月二日まで展示する。

仮設住宅は県産直住宅協会や県が共同開発した。これまで県内二カ所の自治体で公開され、飛騨市が三件目。同協会は要請があれば半年以内に最大二千七百三十の仮設住宅を建設でき、連合会はそのうち三百戸を建てる体制を整えている。この日は連合会の大工ら十一人が縦、横五・四、四方、高さ二層ほどの平屋一戸を

で利用された。西「バス停は西支店前」に。車検場口

